

医務室便り

虫に刺されたら・・・

虫刺されは、とても日常的な皮膚病のひとつです。蚊、ブヨ、ノミ、ハチなど身近な虫が原因になる事が多く、完全に予防することは難しいものです。虫に刺されたら、まずその部位を洗い流し、清潔にします。ハチや毛虫の場合は、セロハンテープなどを軽く皮膚に当ててはがし、残っている毒針や毒毛を取り除きます。その上で、冷やし、できるだけ掻かず、炎症を広げないようにします。虫刺されに使われる塗り薬としては、かゆみを鎮める抗ヒスタミン成分配合した外用剤と、炎症を抑える、ステロイド外用薬が代表的です。虫刺されの症状が強い場合、腫れがひどい、全身に熱が出るなどがあれば受診しましょう。たかが虫刺されとあなどることなく、早めに炎症の治療を受けることが大切です。



できるだけ、掻かないようにしましょう！

お誕生者の案内

7月	16日 前川さん	10月	4日 藤岡さん
	18日 岡崎さん		9日 松本さん
	19日 東條さん	11月	1日 雨森さん
	23日 外井さん		24日 河野さん
	24日 本田さん		25日 薬井さん
8月	6日 木山さん	12月	1日 下村さん
	18日 佐藤さん		8日 西山さん
	25日 釘野さん		9日 尾崎さん
	27日 増本さん		14日 橋本さん
	31日 宮本さん		29日 堀口さん
			30日 畑野さん

新任職員紹介



野崎龍之介

皆さん初めまして、野崎龍之介と申します。4月より真和館で働かせて頂いています。初めは、社会への独り立ちという不安と、真和館で上手くやって行けるかという不安を抱えながら、入社致しました。しかし、優しく仕事熱心な職員の方が多く、職場環境も良くてとても働きやすい向上心の持てる職場でした。これから先輩方の背中を見て、多くの事を学んで行こうと思っております。よろしくお願ひします。



鈴木洋一

4月から調理場に入りました鈴木洋一です。千葉県出身で、17年前に西原村に引っ越して来ました。千葉では、ホテルでコックをしていました。熊本では、ソーセージ、ハムを作る工場に勤めていました。趣味は、バイク(ハーレー)で走ることに、キャンプと旅行が好きです。真和館ではまだ日が浅いですが、好きな料理の仕事で頑張りますので、皆さんよろしくお願ひします。

編集後記

今回の風の彩りでは、QC活動と断酒の取り組みを大きく掲載させて頂きました。QC活動では、給食班の皆さんのおかげで、いつも美味しい給食を頂くことが出来ています。梅雨が明ければ本格的な暑さが到来して参ります。皆さまも体調管理には十分注意して、暑さに負けないようにして下さい。今後も、2名の新任職員と併せて真和館をよろしくおねがいします。

<編集責任>
田上

発行: 社会福祉法人 致知会
救護施設 真和館
 〒861-2401 熊本県阿蘇郡西原村鳥子3072番地
 TEL:(096)279-1121 FAX:(096)279-1122
 E-mail:shinwakan@utopia.ocn.ne.jp
 HP:http://www2.ocn.ne.jp/~titikai/index.html

※「風の彩り」に掲載されている写真等は、ご本人の了解を得ております。

真和館だより 第19号

風の彩り

救護施設真和館の
入所者処遇の現状と今後の方向



施設長 藤本和彦

真和館の入所者処遇の特色は、アルコール依存症と精神障害に力を入れた取り組みにあります。特に、アルコール依存症につきましては、開設当初の「施設内で飲まない、飲ませない」取り組みから、今では、「地域に戻ってからも飲まない」取り組みに力点が移って参りました。

そこで、回復に向けての取り組みをさらに、意図的・計画的にするために、施設開設から10年目の平成27年度末に、真和館で日頃取り組んでいるアルコール学習会などの支援内容を「真和館アルコール依存症回復プログラム(施設版)」として体系化しました。その内容は、朝は断酒の誓いから始まり、昼はAAの12のステップを中心とした学習会やアルコールミーティング、夕方は断酒の集いで一日の学習を終わります。

また、その合間に、外部で開催される様々なアルコール関連の学習会や行事、ミーティングなどにも積極的に参加しています。

さらに、地域に出られる予定の方に対しては、地域のアパートをお借りし、そこで、1~2年間、居宅での生活と同じ環境の下、生活訓練をして頂いています。

昨年度(平成28年度)は、「依存症回復プログラム」の実施初年度となるため、熊本地震という思わぬ障害もありましたが、このプログラムを1年間通して実施し、おおよそ、現在の真和館の力で対応できることが明確になりました。

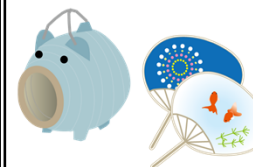
そこで、外部の行事やミーティングには、今だ、不確定な部分もありますが、今後も、引き続き、このプログラムを深掘りしながら、アルコール依存症対策の充実を図って参ります。一方、精神障害者の処遇につきましては、施設がオープンし11年という歩みの中、職員の精神障害に対する支援力も高まり、重い精神障害の方の支援も何とかできるようになりました。

そこで、平成29年度を起点に、さらに、精神障害に対する処遇や支援力を向上させる取り組みを始めることになりました。

早速、今年5月から、新たに2つの取り組みを始めました。一つは統合失調症者の入所者に対する「統合失調症の学習会(認知行動療法)」であり、もう一つは、職員の勉強会(毎週水曜日に実施)で「ユマニチュード(認知症の方に対するケアの手法の一つ)」の勉強が始まったことでもあります。

また、できるだけ、入院せずに施設で暮らして頂くために、不穏になる原因を発見し、その引き金を引かせないようにするための「未然防止」の手法も只今、真和館独自の手法として開発中であります。

この他にも、昨年からは勉強を始めたクラフト(アルコール依存症者に対する家族のコミュニケーション手法)やアサーティブ(自分の要求や意見を相手の権利を侵害せずに誠実に率直に表現する技法)、さらには、アンガーマネジメント(怒りの感情と上手に付き合うための心理トレーニング)など精神障害の支援に役立つと思われる支援手法の施設内への取り入れも始まりました。



創立11周年記念式典

平成29年4月28日で創立11周年を迎えました。
 前年は、熊本地震のため簡素な式典となりました。そのため、今年はいつ以上に華やかな装飾で和やかに式典が進みました。
 式典では、記念品贈呈があり、合唱クラブから「巨人の星」を披露していただきました。全員で歌う「ふるさと」は、毎年恒例ながらも、その歌声にいつ聞いても心に沁みるものがありました。
 毎年、皆様が発表される文集のテーマは、今年は「花」。桜の花を思い浮かべる方や花のある人になりたいと思われる方々様々で、会場には色とりどりの花が咲き誇っていました。



入所者統計

1) 障害区分状況 H29年4月1日現在

	身体障害	知的障害	精神障害	重複障害			生活障害	合計	(内アルコール依存症)
				身体障害と精神障害	知的障害と精神障害	身体・知的・精神障害			
男	2	8	35(19)	2	8	0	5	40	(21)
女	0	1	15(8)	0	1	0	0	15	(6)
計	2	9	50(27)	2	9	0	5	55	(27)

※身体(3級以上)・知的・精神障害(3級以上)の数は手帳所持者の数であり、合計とは一致しない。
 ※精神障害の()内は統合失調症者の数である。
 ※生活障害のうち4名の方は、精神障害者保健福祉手帳申請予定である。

2) 年齢別入所者状況

	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70~79	80~	合計
男	1	4	6	11	8	9	1	40
女	0	1	3	2	5	3	1	15
計	1	5	9	13	13	12	2	55

平均年齢 男)63歳2ヶ月 女)66歳9ヶ月 全体)64歳1ヶ月

平成28年度 決算報告

貸借対照表
平成29年3月31日現在

資産の部		負債の部	
科目	当年歳末	科目	当年歳末
流動資産	67,432,535	流動負債	12,053,525
固定資産	441,570,118	固定負債	3,836,858
建物	355,836,823	負債の部合計	50,414,383
土地	7,881,175	純資産の部	
構築物	4,632,594	基本金	62,051,175
車両運搬具	4	国庫補助金等特別積立金	164,650,267
器具及び備品	2,358,272	積立金	0
建設仮勘定	61,020,864	次期繰越活動収支差額	231,886,828
その他固定資産	9,840,586	(うち当期活動収支差額)	19,871,589
資産の部合計	509,002,653	純資産の部合計	458,588,270
		負債及び純資産の部合計	509,002,653

事業活動収支計算書
(自)平成28年4月1日~(至)平成29年3月31日

法人合計	
勘定科目	決算
サービス活動収益計	208,174,628
サービス活動費用計	203,132,245
サービス活動増減差額	5,042,383
サービス活動外収益計	4,887,314
サービス活動外費用計	5,058,109
事業活動外収支差額	△ 170,795
経常増減差額	4,871,588
特別収入計	17,729,002
特別支出計	2,729,001
特別収支差額	15,000,001
当期活動増減差額	19,871,589
前期繰越活動増減差額	157,015,239
当期末繰越活動増減差額	176,886,828
その他の積立金取崩額	55,000,000
その他の積立金積立額	0
次期繰越活動収支差額	231,886,828

断酒の誓い

毎朝9:00から、「断酒の誓い」の唱和をしています。真和館アルコール依存症回復プログラムの一が始まります。



もっと強く!
 もっと賢く!
 もっと真剣に!
 やろう! やろう! やろう!

断酒の集い

夕方は、17:10から、断酒会の「断酒新生指針」7項目を、毎日1項目ずつ、参加メンバーで音読しています。



集中内観療法に参加して

集中内観を体験させていただきありがとうございました。
 内観とは、①して頂いたこと ②して返したこと ③迷惑をかけたことの気づきです。7日間、ひたすら振り返りができたことは、私にとって良い時間を過ごさせて頂いたと、ありがたい気持ちでいっぱいです。人の愛に私はいつの間にか気づかず生きてきたように思えます。して頂いたことの大さ、迷惑や心配をお掛けしたことの申し訳なさ、切なさ、して返したことはあまりなかったですが、幼少の頃のお遣いに行く私、無邪気な弟の笑顔、私は見守られていたことに気づきました。(記:入所者 Aさん)

内観

平成29年4月25日~5月2日までの7泊8日、鹿児島県指宿市の指宿竹元病院の集中内観療法に参加させて頂きました。私自身は、今回が内観初体験でした。最初は、なかなか上手く内観が出来ず、3日目ようやく馴れ、順調に進んで行ったように思えます。精神集中の邪魔になるということで、テレビ、ラジオ、雑誌、携帯電話の持ち込みは禁止なので、最初は不安を感じましたが、現代のストレス社会の中で、静かに一週間も瞑想できたことは、逆に贅沢で貴重な時間を過ごさせて頂いたと思います。

「して返したこと」はなかなか見つかりませんが、「して頂いたこと」と「迷惑をかけたこと」は小さなことから大きなことまでたくさん見つかります。AAや断酒会での体験発表の中でも、必ず家族や周囲の人に対して「して頂いたこと」や「迷惑をかけたこと」に関する振り返りをされます。内観を体験し、改めて過去を振り返ることの大事さ、そしてその振り返りが治療に繋がって行くということを感じさせられました。
 この集中内観で、自分がこれまでいかに周囲の人に支えられて生きて来たかということに気づき、感謝の気持ちでいっぱいになりました。(記:生活支援班長 田上雄次郎)

真和館アルコールミーティングある日の風景

真和館アルコールミーティングは、毎週水曜日の午前10時から午前11時まで、学習室で開催しています。まず、始めに、AAのテキストを読み合わせし、その日の教材内容に沿ったテーマから、順番に一人ひとりが経験や考え、思いを話して行きます。100人いれば100通りの経験や考え、思いがあります。今日のテーマは…「アルコールを飲んで、もう駄目だと思った時に、これは病気だと思えましたか?」です。ミーティングの最後に、「今日を新たに」を読み合わせし、「平安の祈り」を唱和して終わります。



T男さん…酒を飲んで何回も、もう駄目だと思いました。父がアルコール依存症なので自分がアルコール依存症と認めたくありませんでした。そのような思いが10数年続いて、40歳の時に薬物のことは認めても、アルコールのことは認めたくありませんでした。恨みや怒りの感情、やり返したいという思いがありました。

ある日、ある事がきっかけで、父の主治医からSMARPP(薬物・アルコール依存症からの回復支援ワークブック)の本を頂きました。「引き金」という項目を読んで、「このままでは、他人を傷つけるか、自分が死ぬしかないと感じました。今まで、諦めることばかりの人生でした。今度は良くなることを諦めたくありません。」



K男さん…私がAAや断酒会というものがあると知ったのは真和館に来てからです。仕事をしていた時には、毎日晩酌をしていました。真和館で頑張っ、真和館アルコールミーティングや断酒の誓い、断酒の集いに顔を出していきたくと思います。

K子さん…他人にアルコール依存症と言われるのがとても嫌です。

S男さん…病院に入院になっても、アルコール依存症と認めませんでした。差別するな、普通に飲める人間なんだ、と思っていました。今は、アルコール依存症と認めています。



K男さん…もう駄目だと思ったのは30年前です。アルコール依存症と診断を受けたのですが、医者からアルコール依存症と言われても、どの様な病気か分かりませんでした。すると、医者が「アル中とアルコール依存症は同じです。」と言ったので、「そうか!」と思いました。アルコール依存症と認めてからが辛かったです。職場の人や健康者に病気を理解してもらおうと説明しても色眼鏡で見られ、「あいつはアル中だ。」と後ろ指を指され、厳しい目で見られました。嫌と言うほど思い知らされました。今回は身体がいうことを利かなくなり、このままでは死ぬと思った時、「助けて欲しい」と命乞いをして真和館に助けを求めました。自分の命が大切と思って、腹をくくってもう二度と飲まんと決めました。



S子さん…ないです。病気とは思いません。飲みたいと思いません。
職員…Sさんは、なぜ真和館にいるのだと思いますか?
Sさん…分かりません。

S男さん…僕にとっては、アルコール依存症だということを認めさせられた感じです。アルコール依存症治療の専門病院に3回目の入院の時に、「そうかな?」と認識した程度です。未だに「そうかな?」と思う時があります。

兄弟3人の中で自分一人だけが飲み方が違いました。底なしに飲むんです。ですが、底なしに強いわけではありません。べろべろに正体不明になるまで飲んでしまうんです。そのようなことを考えると、やっぱりアルコール依存症と認めざるを得ないのかなと思います。

F子さん…肝硬変や肝炎になった時に病気と認めました。初期の頃は病気とは思っていませんでした。今は階段の昇り降りも、とてもきついです。たまに幻聴も聞こえます。

前はアルコール中毒と言っていたのに、今はアルコール依存症と病気の名称が変わりましたよね?アルコール依存症の方が聞こえが良いです。

全面的な受け入れ

彼には、アルコール無しの人生なんて考えられない。そしてやがてはアルコールの有る無しにかかわらず、人生そのものについて考えられなくなってしまうだろう。そのとき彼は、誰も知る事のないような孤独を味わう。彼はまさにぎりぎりのところにいる。終止符が打たれるのを心から待ち望むようになる。

アルコールクス・アニマスP220~P221より

アルコールリクなら、この文章の正確な意味が理解できるだろう。現役のアルコールリクとして私をしばり締めたこの二重の原則が、私をさらに深い恐怖と混乱におとしいれた。「飲まなかったら死んでしまう」という思いと「飲み締めていたら死んでしまう」という思いが戦っていた。その二つの強迫的な思いがさらに私をどん底に追い込んだ。そのどん底から、自分のアルコールリズムを全面的に受け入れる力が生まれた。もう一切の引き廻しはやめた。この全面的な受け入れこそが、私の回復には絶対に必要なものだった。それは、これまでまったく直面したことのない嵐さみだったが、後になって気づいてみると、このプログラムで成功するためには必要なことだった。



AAワールド・サービス社の許可の元
「今日を新たに」P5より再録

平安の祈り

神様、私にお与えください
自分に変えられないものを受け入れる落ち着きを変えられるものは、変えていく勇気をそして、二つのものを見わける賢さを

AAワールド・サービス社の許可の元
12のステップと12の伝統 P57より再録

平成29年度 年間支援計画

	指導班	生活支援班	医務班	調理班
4月	対話集会 創立記念式典 心みがきの講演会 AA健軍グループ青空ミーティング(アスベクタ) 熊本ダルクワークショップ	誕生者食事会 春のスポーツ大会・バーベQ会 ゴールデンウィーク特別映画鑑賞会(連休中) 桜見学	救急法(基礎の復習①) 健康指導 	創立記念弁当 栄養指導
5月	対話集会 ピアカウンセリング(統合失調症) 熊本ダルク家族会	誕生者食事会 春の旅行(日帰り) 春の旅行(食事会) 熊救協スポーツ交流会(パークドーム) 西原村区役		端午の節句献立
6月	対話集会 熊本県断酒友の会 一般公開セミナー	誕生者食事会 カラオケ大会 地域防災訓練 還暦祝い 会長杯卓球バレー大会(八代市) 秋・卓球バレー交流大会(萩市)	口腔ケア勉強会	祝還暦
7月	対話集会 AA九州沖縄地域ラウンドアップ	誕生者食事会	救急法(基礎の復習②)	土用丑の日献立 七夕メニュー
8月	対話集会 心みがきの講演会	誕生者食事会 夏の旅行(食事会) 夏の旅行(キャンプ) お盆特別映画鑑賞会		お盆献立
9月	対話集会 熊本地区オープンスピーカーズミーティング	誕生者食事会 大分オープン卓球バレー大会(別府市) 西原村区役	健康診断(第1回)	お彼岸献立 敬老の日献立 お弁当(外部仕入れ)
10月	対話集会 ピアカウンセリング(統合失調症)	誕生者食事会 秋のスポーツ大会・バーベQ会	救急法勉強会(全体) 健康指導	ハロウィンメニュー 非常食メニュー 栄養指導
11月	対話集会 アクションフォーラム(火の君文化ホール)	誕生者食事会 秋の旅行(食事会) 秋の旅行(みかん狩り) 紅葉見学 星野富弘美術館見学 西原村老人健康づくりスポーツ大会 火の国杯卓球バレー大会(熊本市)	心の健康勉強会 インフルエンザ予防接種 	
12月	対話集会 心みがきの講演会 年納め式 熊本アルコール関連問題学会 球磨・人吉地区合同断酒会	誕生者食事会 なかよし祭り カラオケ大会 大掃除 ワックス掛け 餅つき 年末・年始特別映画鑑賞会 事業団杯卓球バレー大会(熊本市)	感染症予防勉強会 	冬至献立 クリスマスメニュー 年越しそば
1月	対話集会 年始め式	誕生者食事会 初詣	救急法(三角巾の復習)	おせち料理 七草粥 鏡開き献立
2月	対話集会 ピアカウンセリング(統合失調症) 九州ダルクフォーラム	誕生者食事会 カラオケ大会 植木市見学 のぎく祭り 冬の旅行(食事会) 芝居見学		節分献立 バレンタインメニュー お弁当(外部仕入れ)
3月	対話集会 心みがきの講演会 益城病院アメリスト例会(年3回~4回) 九州アルコール関連問題学会	誕生者食事会 冬の旅行(1泊旅行) はまゆう杯卓球バレー大会(宮崎市)	健康診断(第2回)	桃の節句献立 お彼岸献立 お花見お弁当

QCサークル活動報告

日科技連発行のQCサークルの基本によれば、「QCサークルとは第一線職場で働く人々が継続的に製品、サービス、仕事などの質の管理・改善を行う小グループである」と定義しています。やり方について、「この小グループは運営を自主的に行いQCの考え方、手法などを活用し創造性を発揮し、自己啓発・相互啓発をはかり活動を進める」と定義しています。

真和館では、毎年6月から年度末頃までを1期間として、職員全員が各チームに分かれQCサークル活動に取り組んでいます。第10期(平成28年6月～平成29年3月)は、調理班1チーム、臭い対策について2チーム、地震対策について1チーム、入所者さんの心の問題について1チームの合計5チームがそれぞれ、熱心に「楽しく? 苦労しながら取り組みました。中頃の10月に中間発表、年度末には最終発表を開催します。その後の打ち上げ食事が楽しみになっており、最近ではテーマを決める前に、「どこのお店で食事をする?」という話題を先に取り上げ、それを楽しみに取り組むチームもあります。

ここでは、「入所者さんの心の問題について」の取り組みを簡単に紹介させていただきます。

このチームは真和館初挑戦となる【未然防止型QCストーリー】に乗せ、活動をすすめました。現在、真和館でやっている未然防止は色々あります。例えば、週末や連休前、年末年始に精神状態が不安定になりそうな人や、発熱などの体調不良になりそうな人について、早めの病院受診を心掛けています。散歩や外出される方には、安全に対する声掛けをします。1分間ラポール、10分間ケース会議、30分間ラポール等の真和館支援ツールを活用し、入所者さんと接する機会を設け心身の安定が図れるように心がけています。これらは勤や経験に頼る手法であり、客観性に乏しい傾向にあることから、何とかして数値化、データ化したいという思いがあり今回の取り組みになった次第です。

テーマ:「STOP・ザ・引き金!」

サブテーマ:入所者さんの不穏な引き金に気づく・何も起こらないことはとても大事

職員が日頃思っている事:真和館には55名の入所者さんがおられ、人それぞれ色々な訴えがあり時には思わぬ事態に発展することがある。その人の不穏の危険な引き金、危険スイッチは一体何なのか?それはいつ出現するのか?平穏無事に暮らすには、何も起こらないことが一番!危険な引き金、危険なスイッチを知っていると知らないのでは大違い!それは職員皆が認識する必要がある!そして早め早めの対応先手を打つ!未然に防ぐことで支援の量の削減と支援の質の向上に繋がるのでは!等々自由に出し合いました。

ところで、パレートの法則(2:8の法則)と言うのがあります。

※パレートの法則とは、ある事象のバラツキが2割と8割に分布しているバラツキの状態をさします。主な例:お店の売り上げは2割のお客で8割を占める。WEBサイトは2割のページに8割のアクセスが集中する。

不穏につながりそうな(しそうな)2割の人に対する対応を強化すれば、問題が拡大しないのではないかと考えました。なお、その時々で対象者2割は、常に入れ替わります。

そこで、この2割程度(11名)の方に注目し、未然防止型QCストーリーの手法を活用し、問題に至る、引き金を探ることにしました。

その中のAさん(統合失調症)は、実際は良く寝ておられるのですが、「夜一睡もできない、寝た気がしない」と言う訴えがあります。また、「XとYとZが嫌がらせをした。俺の物を盗った」と事実とは異なる訴えもあります。「悪く思われている気がする」と言われることもあります。最終的には自分より弱そうなPとQとRに対して暴言、暴力行為に発展することがありました。このような危険行為に至る「引き金」を探ることで、未然防止に繋がります。

それらの訴えや行動について、RPN(危険優先指数)と言う聞き慣れない手法を活用して数値化し対策を考えました。

【他に、プロセスフロー図/機能ブロック図、FMEA(失敗モード影響分析)対策発想チェックリスト等も活用】

対策として精神状態の安定を最優先するため無理強いしない。刺激しない。自分の世界を大事にしてくれるよう邪魔をしない。妄想の対象者、攻撃の対象者とできるだけ顔を合わせないで済むように配慮し支援する。これらの対策は職員全員が共有し徹底することで効力が増すと考えられるので、館内の日誌やサイボウズを利用し職員間の共有を図るようにしています。現在は個別支援計画にどう反映させられるか検討中でありま

こんにちは、給食室からです!

給食は、入所者のみなさんが、最も楽しみにされているものの1つであり、暮らしの質や精神の安定まで左右する大事なものです。そのため、入所者のみなさんの嗜好に合った食事提供ができるよう、様々な工夫を行っています。私たちは、熊本城の台所名よりいただき、サークル名「おみだいどころ」として、毎年給食班メンバーでQC活動に取り組んでいます。顧問の川久保先生や職員からも、給食班の活動は素晴らしいと毎回好評をいただいています。九救協大会でも何度も発表させていただいています。

今回は、私達給食班が、最近5年間で取り組んできたQC活動について、ご紹介させていただきます!

★平成24年度「嗜好調査に応える」



写真のたこ焼きを始め、サラダちくわ、さつま芋饅頭、いもチョコ、ピーナッツ豆腐など計13品の新メニューを開発!

★平成25年度「安く!おいしく!ヘチャレンジ!」



1年間で約200万円相当の食材費節約に成功!節約した一部で、美味しいステーキや海鮮丼を振舞い、喜ばれた活動です!

★平成26年度「真和館独自の創作メニュー!」



写真の茶碗蒸しうどんを始め、手作りピザ、サバ茶漬、馬すじ丼、生姜焼き丼など計16品の、メニューを開発!

★平成27年度「楽しくエコチャレンジ!」



水が20L入るご飯釜を、わずか2Lで洗えるようになるなど、様々な光熱水費削減に成功!

★平成28年度「だしの新メニュー!」



写真のちゃんこ鍋風を始め、鯛茶漬、塩ラーメン、とんこつラーメンなど計8品のだしメニューを開発!



「楽しく」をモットーに活動中!

《入所者の嗜好把握》

給食に、入所者のみなさんの要望を取り入れるために、ユニット代表の入所者と栄養士とで、献立の検討を行う「メニュー検討委員会」を毎月1回開催しています。

また、調理室前には、「リクエストBOX」を設置し、入所者のみなさんのご要望に応じています。さらに、年2回嗜好調査アンケートを実施し、入所者のみなさんの嗜好把握にも努めています。ここで、平成28年度に行った「おにぎり」についてのアンケートを一部ご紹介いたします♪

★食べたいおかずおにぎり

1	鮭おにぎり	27
2	かしわおにぎり	18
3	ピラフおにぎり	14
4	天むす風おにぎり	11
4	五目おにぎり	11
6	カレーおにぎり	9
7	焼き魚おにぎり	8
8	豚味噌おにぎり	5
9	他海苔巻き	3
10	他明太子	1
10	回答なし	1

★おかずおにぎりの他に食べたいおにぎり

1	高菜おにぎり	19
2	梅おにぎり	18
3	おかかおにぎり	16
3	塩昆布おにぎり	16
5	じゃこおにぎり	11
6	わかめおにぎり	8
7	ゆかりおにぎり	6
8	青菜おにぎり	5
9	他焼きおにぎり	1
9	他明太子	1
9	回答なし	1

毎月16日は、熊本地震の日です。

熊本地震を忘れないように、「おにぎりの日」として、昼食には、おにぎりを提供しています。

